

講演会

# 光市母子殺害事件

## ～法の限界を乗り越える～



中大OB、ジャーナリスト門田隆将さん

幸せの真ただ中にいた若い夫婦と幼い娘が命を落とした山口県光市の母子殺害事件。18歳犯人を無期懲役から死刑判決とした差し戻し審をテーマにした講演会「光市母子殺害事件」～法の限界を乗り越える～は中央大学OBでジャーナリストの門田隆将さんを招いて、白門祭期間中の11月3日、中大多摩キャンパスで行われた。広い会場の8号館8304教室はほぼ満員。熱気のなかで熱いトークが始まった。(主催・学友会学術連盟法学会)

### 裁判所の実態

新潮社に入社した新人記者時代に法廷取材をした際、最初から驚いた。「裁判所は憲法を踏みにじっていました。なんじゃコレと思いましたね」。なんと、傍聴席でメモを取ることができなかったのだ。「メモ解禁は平成(1989年)に入ってから。言論の自由は表現、筆記の自由でもある」

記者席(日本雑誌協会)ならメモは取れるが、事前申請が必要で急な対応はかなわなかった。傍聴席でメモを取ろうものなら、裁判官に「そこ、退廷!」とやられる。「その態度の傲慢さにびっくりした。この人たちは果たして国民の奉仕者たる“公僕”の意識を持っているのだろうか、と疑問を抱いた。彼らの判決をありがたく頂戴してはいけないのではないか、と」

門田さんは、ローレンス・レベタ氏という米国人弁護士の名前を挙げた。1983年(昭和58年)、東京地裁で刑事法廷を傍聴した際にメモを取ることを禁じられた人だ。憲法違反と提訴し、1989年に最高裁で法廷メモは原則自由とする判決を勝ち取った。「きのうまでダメで、きょうからオッケーになる。裁判所には軸がない」

### あなたに聞きたい

週刊新潮記者となって、裁判記事を多く書いた。裁判官への取材も多くなる。「取材を役所で申し込んでもダメ。断られる。自宅では応対する夫人が“主人はいません”と言う。私たちは出勤途中で取材をかける」

「ご意見を伺いたい。そう聞くと驚くほどうろたえる。自分たちは偉いと思っている。直接質問を浴びせられるなんて思ってもみない」

「逃げようとするから私は行く手を塞ぐ。“広報に聞いてくれ” “私はあなたに聞きたい”。いままで誰もまともに答えてくれたことがない」

会場はシーンとしている。話に聞き入っている。裁判官の実態は著書『裁判官が日本を滅ぼす』(新潮文庫)に詳述されている。

### 本村洋さん

1999年に山口県光市で23歳の妻と生後11カ月の女兒が惨殺された。18歳の犯人は少年法に守られている。司法の壁に挑んだ夫・本村洋さんを取材した。

「最初の取材は山口地裁から実家の小倉に帰った時、狭い喫茶店でした。長時間のインタビューで本村さんは“僕は犯人を絶対に殺します”と言った。23歳の青年の印象は大学生そのものといった感じ。当時私は40歳過ぎて週刊新潮デスクになって10年ほど。いわば大人が、彼の発言をたしなめることもできず、ただ聞いていた。喫茶店の店内はぎょっとしている」

被害者への取材は、つらいという。「断られるし塩をまかれるし、それを突破して相手に心を開いてもらう。何度でも何度でも行く。自分はそれをしてきたから(編集責任者の)デスクになって、若い記者に行けという“鬼”と呼ばれた」

こうした門田さんの綿密な取材、本村さん

の心の底を聞く取材は9年間に及んだ。

「本村さんは事件の第一発見者。押入れをのぞくと座布団が立てかけられていた。座布団をどけると全裸で夫人が横たわっていた。あまりの驚愕に腰が抜けた。我を失った」

「本村さんは自分を責める。僕は妻を抱きしめることができなかった。僕は自分自身が許せない。どれほど僕はひどい男か。そんな奴がいますかという。私はその状況で抱きしめられたら冷静だと思う。長く記者をしていますが、彼には驚いた」

妻子の名誉のため、正義のため、本村さんは揺らぐことなく司法の矛盾を訴え、ついには「無期懲役」を2008年の差し戻し審で「死刑判決」とした。

門田さんは、犯人の18歳少年(当時)を拘留所に訪ねている。何度も会い、最近では彼から面会を求められるようになった。

双方から話を聞く。門田さんの著書はごまかしのない実名報道だ。取材先から信頼を得るのは大変なことで、当初嫌がられた関係を改善し、生涯の友人関係まで発展させた。

「本村さんは上京の折に私を訪ねてくれる。お付き合いはご両親ともども、長くなりました」

読者の心を動かす文章を書くジャーナリストは、正義感に燃えた熱い人である。

略歴 本名・門脇護(かどわき・まもる)  
高知県出身。土佐高一中央大学法学部卒。新潮社入社後、週刊新潮特集班デスクとして18年にわたって政治、経済、歴史、司法、事件、スポーツなどさまざまな分野で800本近い特集記事を執筆した。2008年4月に独立。54歳。  
(参考・門田隆将さんHP)